

洪水ハザードマップについて

この洪水ハザードマップは、大雨が降ったことにより堤防から水があふれたり、堤防が壊れた場合に想定される浸水の範囲やその深さを表したものです。

計算に用いた雨量は、以下の前提としています。

士別市全図では
1,000年に1回起こる降雨

各地区図では
100年に1回起こる大雨

天塩川
<3日間>
343mm

剣淵川
<2日間>
430mm

温根別川
犬牛別川
<1日>
457mm

その他小河川
<1時間>
60~120mm

天塩川
<3日間>
224mm

剣淵川
<2日間>
218mm

なお、このシミュレーションでは、想定を超える降雨や一部の支流の氾濫、内水による浸水等は計算していませんので、浸水想定区域以外でも浸水が発生する場合があります。

大雨により水害のおそれがある時は、自主的にすみやかに避難してください。

また、市から「避難勧告」や「避難指示(緊急)」が出された場合には、必ず安全な避難所へ避難してください。

河川が氾濫するような大雨の時は、がけ崩れや土石流などが発生し、道路が通れなくなる場合があります。雨脚が強くなる前に避難してください。

避難勧告等の発令後の行動

区分	住民に求める行動
避難準備 高齢者等 避難開始	<ul style="list-style-type: none">● お年寄りや体の不自由な方、小さなお子さんがいらっしゃる方など、避難行動に時間を要する方は、計画された避難場所への避難を開始(避難行動に際し、支援をしてくださる方は支援行動を開始)● 上記以外の住民は、家族との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	<ul style="list-style-type: none">● 通常の避難行動ができる方は、計画された避難場所等への避難を開始
避難指示 (緊急)	<ul style="list-style-type: none">● 避難勧告等の発令後で避難中の方は、直ちに避難を完了する● まだ避難していない対象住民は、避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動(自宅の2階への避難等)



市や自治会の「防災訓練」には、積極的に参加し、このハザードマップを活用してください!